

《公共事業の効果等について》

○資料6－1

県営漁港機能高度化事業（福所江漁港 永田地区）

【農山漁村課】

○資料6－2

道路整備交付金事業（一般県道 加倉仮屋港線）

【道路課】

○資料6－3

街路整備交付金事業（八谷搦駅前線（2工区））

【まちづくり課】

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名： 県営漁港機能高度化事業
- 路線名又は箇所名： 福所江漁港 永田地区
- 事業の概要
 - 工 期： 平成 25 年度～平成 27 年度
 - 事 業 費： 約 1.38 億円
 - 事業内容： 漁船保管施設用地整備 A=7,950 m²

【公共事業の効果等】

- 漁船保管施設を整備することにより、台風時等に漁船を避難させることが可能となったことから損傷を受ける漁船が減り、漁船の耐用年数が延伸した。
- 漁船保管施設に陸上保管が出来るようになり、漁船の維持管理が容易になった。

【事業実施前の状況等】

- 台風時に漁船の転覆が発生していた。
- 台風時は物揚場などの係留施設や河川内にある浅瀬やヨシの中等に漁船を避難させていた。
- 加工場等の空きスペースで船のメンテナンスを行っていた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 事業実施後は台風時に漁船保管施設に避難できるようになり、船体の損傷が減った。また、維持管理(船底塗装等)の作業場としても利用ができ、漁業者から漁港事業に対して感謝の声が上がっている。

公共事業に係る効果等について

県営漁港機能高度化事業

ながた 福所江漁港永田地区

(農林水産部農山漁村課)

1. 事業概要

○漁船保管施設用地の整備による漁船耐用年数の延伸を図る。

- ◇ 事業名：県営漁港機能高度化事業
- ◇ 地区名：福所江漁港 永田地区
- ◇ 工期：平成25年度～平成27年度
- ◇ 事業費：1.38億円
- ◇ 負担割合：国50%、県35%、市町・漁業者15%
- ◇ 事業内容：漁船保管施設用地整備
A=7,950㎡



2.事業の背景と目的

当地区は、河川漁港であることから、防波堤等の静穏度を保つための施設整備が治水上実施ができない。そのため、台風時には漁船の転覆が発生しており、物揚場などの係留施設や河川内にある浅瀬やヨシの中等に漁船を突っ込むなどして避難させていた。

このため、台風時等の荒天時に漁船を避難させる漁船保管施設用地を整備することにより、安全性の向上を図り併せて漁船の耐用年数の延伸が図られる。



芦刈海岸の高潮被害



台風時の避難状況

3.事業内容

漁船の避難場所として利用できる漁船保管施設用地を新設する。



4.整備状況

事業実施前



事業実施後

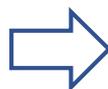


4.整備状況

整備前



隣接水路



整備後



整備前



運搬道路



整備後



5.事業効果



漁船保管施設の整備により、安全な漁船保管が可能となったことから損傷を受ける漁船が減り、漁船の耐用年数が延伸した。
また、陸上げ保管が出来るようになり、漁船の維持管理が容易になった。

直接効果	整備前	整備後
保管可能隻数	0隻	39隻
耐用年数(見込)	7年	10年

6.漁業者の声

○漁船保管施設に避難できるようになり、船体の損傷が減った。

○維持管理(船底塗装等)や台風時の避難箇所として、とても助かっている。



公共事業の効果等について

【事業名、路線名、事業概要】

- 事業名 : 道路整備交付金事業
- 路線名 : 一般県道 加倉仮屋港線
- 所在地 : 玄海町 有浦上
- 事業の概要
 - 工 期 : 平成13年～平成26年(14年間)
 - 事 業 費 : 約25億円
 - 事業内容 : バイパス整備
延長 L=2.0km、幅員W=12.0(6.5)m

【公共事業の効果等】

- 旧道からバイパスへ交通が転換することにより、自動車交通の円滑化が図られる。
- 自転車歩行者道を整備することにより、自転車・歩行者の安全性が向上する。

【事業実施前の状況等】

本路線は、東松浦半島を横断する道路で、地域間の交流や観光地を連携する他、防災拠点へのアクセスとして緊急輸送道路にも指定されている重要な道路である。

当該区間は、玄海町の中心市街地で沿線には玄海町役場もあることから、路線バスなど大型車両も通行する箇所である。しかし、車道幅員が狭く、歩道も未整備であるため、円滑な交通に支障を来していた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

整備後、当該地区を通過する自動車交通量の約7割がバイパスを利用しており、交通の転換に繋がった。また、幅員が広がり、走行性が向上したことで、緊急輸送道路についても旧道からバイパスへと見直しが行われ、円滑な避難が可能になるなど、自動車交通の円滑化を図ることができた。

さらに、自転車歩行者道を整備したことにより、人身事故の件数が減少し、自転車・歩行者が安全に通行できるようになった。

(県民の声)

- バイパスが整備されたことで、玄海町役場まで安全にスムーズに行けるようになった。
- 自動車の交通が旧道からバイパスへと転換したことで、市街地を通行する車両が減少し、旧道沿いの建物への騒音・振動が改善した。

公共事業に係る効果等について

道路整備交付金事業

かくら かりやこう

一般県道 加倉仮屋港線

(道路課)

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.



佐賀県 県土整備部

事業概要

- ◆事業名 : 道路整備交付金事業
- ◆路線名 : 一般県道 加倉仮屋港線
- ◆所在地 : 玄海町 有浦上
- ◆工期 : 平成13年～平成26年
(14年間)
- ◆事業費 : 約25億円
- ◆事業内容 : バイパス整備
延長L=2.0km
幅員W=12.0(6.5)m



凡例	
	国道(国管理)
	国道(県管理)
	主要地方道
	一般県道

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.



佐賀県 県土整備部

事業の背景と目的

◆路線の位置づけ

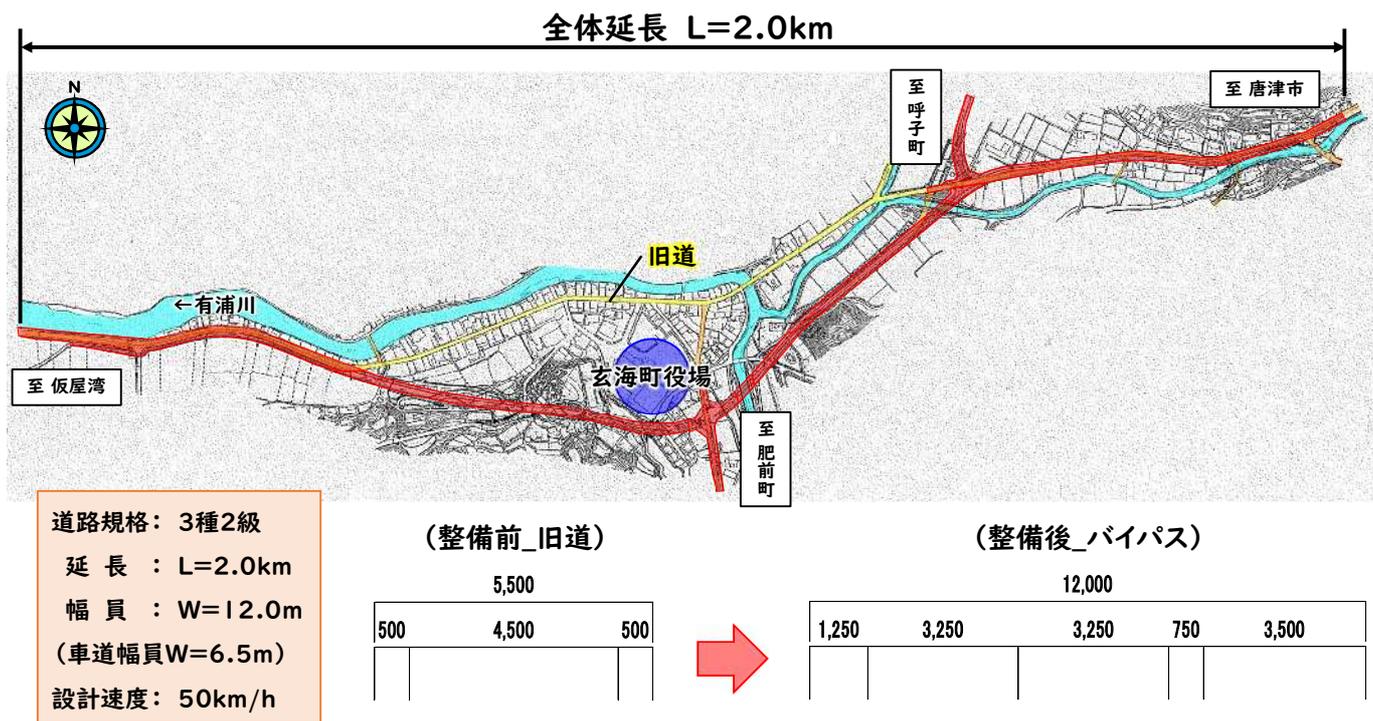
- ・東松浦半島を横断し、**地域間の交流**や**観光地を連携**する道路
- ・防災拠点（玄海町役場）へのアクセスを担う重要な道路として、**緊急輸送道路に指定**
- ・玄海町の**中心市街地を通る幹線道路**で沿線には玄海町役場もあり、**路線バスなど大型車両も通行**

しかしながら、**道路幅員が狭く、歩道も未整備**であるため、

円滑で安全な通行に支障を来している

- ・**自動車交通の円滑化**
- ・**自転車・歩行者の安全性を向上**

事業内容



事業効果①



- ◆交通量調査の結果から、**自動車の交通が旧道からバイパスへと転換している。**
- ◆規格を満足する幅員を確保したことで、**大型車両同士でもスムーズな離合が可能となった。**



自動車交通の円滑化

事業効果②



※直近事故件数は、旧道及びバイパスにて

- ◆自動車の交通が旧道からバイパスへ転換したことで、**市街地を通行する車両が減少したこと**
自転車歩行者道の整備により、**事故件数が減少した。**



安全性が向上

◆バイパスが整備されたことで、玄海町役場まで安全にスムーズに行けるようになった。

◆自動車の交通が旧道からバイパスへ転換したことで、

市街地を通行する車両が減少し、旧道沿いの建物への騒音・振動が改善した。

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：街路整備交付金事業
- 路線名又は箇所名：(都)八谷搦駅前線(2工区)
- 事業の概要
 - 工期：平成20年度～平成26年度
 - 事業費：約15.2億円
 - 事業内容：自転車歩行者道整備 L=280m W=18.0m

【公共事業の効果等】

- 自転車歩行者道を整備したことにより、自転車・歩行者の安全性が向上し、自転車歩行者交通量が増加した。
- 歩行空間を確保したことにより、歩行者の回遊性・利便性が向上し、都市の住環境の維持に寄与している。また、新しく飲食店やビジネス支援オフィス等がオープンしており、今後も快適で魅力ある空間が形成されることが期待できる。

【事業実施前の状況等】

当該事業箇所は、伊万里市中心市街地を東西に通る重要な幹線街路であり、沿道には商店や飲食店、伊万里駅等が存在しているが、歩道が無く、通学児童生徒や店舗利用者と自動車輻輳し、危険な状態であった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 景観が良くなり、快適な空間ができた。
- 歩道の設置により歩行者の安全性が向上し、店舗が利用しやすくなった。
- 広い歩道ができてゆったりと歩けるようになった。
- 歩行者・自転車が安全に通行できるようになった。

公共事業に係る効果等について

街路整備交付金事業

はちやがらみ えきまえせん

(都)八谷搦駅前線(2工区)

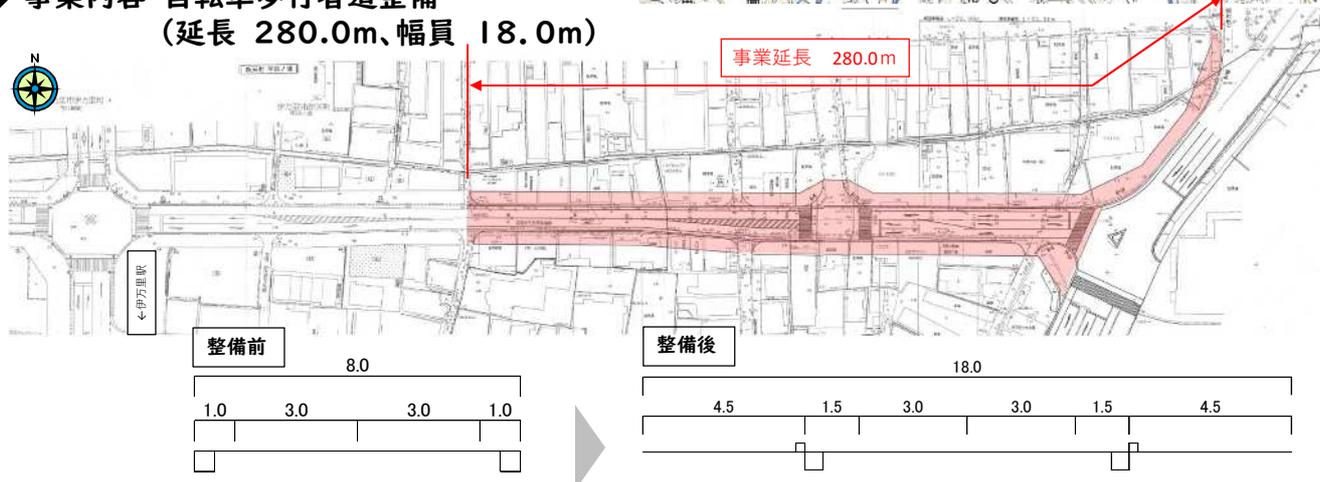
(まちづくり課)

Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

みらい
つながる
Tゾーン 佐賀県 県土整備部

事業概要

- ◆ 事業名 街路整備交付金事業
- ◆ 路線名 (都)八谷搦駅前線(2工区)
- ◆ 事業箇所 伊万里市新天町～立花町
- ◆ 工期 平成20年度～平成26年度
- ◆ 総事業費 約15.2億円
- ◆ 事業内容 自転車歩行者道整備
(延長 280.0m、幅員 18.0m)



Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

みらい
つながる
Tゾーン 佐賀県 県土整備部

事業の背景と目的

【背景】

- 伊万里市中心市街地を東西に通る重要な幹線街路
- 沿道には商店や飲食店、伊万里駅等が存在
- 歩道が無く、通学児童生徒や店舗利用者と自動車が輻輳し、危険な状態

歩道が無く歩行者が車道を通行



自動車と輻輳



そのため

【目的】

- 自転車歩行者道を整備することにより
- 自転車・歩行者の安全性の向上
- 沿道店舗等を安心して利用できる環境の創出による「まちの活性化」

事業効果 ①

《自転車・歩行者の安全性の向上》

自転車歩行者道を整備したことで自転車・歩行者の安全性が向上し、自転車歩行者交通量が増加した。

整備前

歩道が無く歩行者が車道を通行



整備後



安全性が向上



	【整備前】	→	【整備後】
自転車	73台		114台
歩行者	94人		303人

事業効果 ②

《沿道店舗等を安心して利用できる環境の創出による「まちの活性化」》

歩行空間を確保したことにより、歩行者の回遊性・利便性が向上し、都市の住環境の維持に寄与している。
また、新しく飲食店やビジネス支援オフィス等がオープンしており、今後も快適で魅力ある空間が形成されることが期待できる。

整備前



自動車との輻輳や店舗前駐車等により、安心して店舗が利用できない



整備後



店舗が利用しやすくなった

新しい店舗やビジネス支援オフィスがオープン



Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

みらい
つながる
Tゾーン

佐賀県 県土整備部

5

県民の声

- 景観が良くなり、快適な空間ができた。
- 歩道の設置により歩行者の安全性が向上し、店舗が利用しやすくなった。
- 広い歩道ができてゆったりと歩けるようになった。
- 歩行者・自転車が安全に通行できるようになった。



Copyright © 2022 Saga Prefecture. All Rights Reserved.

みらい
つながる
Tゾーン

佐賀県 県土整備部

6